

【活用にあって】

「大人の人に記事を読んでもらって考えましょう」と書いてありますが、これがなかなか難しいですね。

「風物詩」「露天風呂」「しきり」などは、子どもたちにとって容易に意味がつかめない言葉です。どう言い換えるかですね。聞く力を付けるには、大人がどう話すかにかかっていると言っても過言ではありません。

面倒でも、大人の人が国語辞典を引くことです。「冬の風物詩～」なら、「毎年冬になると、カピバラが家の外にある風呂に入るそうです。みんなそれを見て冬だなあと思います」のように分かりやすくします。一手間かけることが大切です。

解答例

問1：(露天)風呂に入っている。

問2：「いい湯だね」「ほんと、いい湯だね」

「ぬくぬくして、いいね」「体があつたまるね」

など会話になっているといいですね。